

## 教師用指導案「アクティビティシート26：フェアプレー」

- 対象： 小学校低・中学年
- 本時のねらい： フェアプレーとは何かを理解するとともに、スポーツにおいてだけでなく生活においても重要であることを理解する。
- 準備物： [オリンピック価値教育の基礎](#)
- 適用可能な学習時間： 総合的な学習の時間、道徳、学級活動 等

時間	学習活動	指導上の留意点	参照資料等
導入 (5分)	1) 本時の見通しを持つ 【発問】「フェアプレー」という言葉を聞いたことがありますか。それはどんな意味でしょうか。	本時はフェアプレーについて学ぶことを理解させる。 各自が思う「フェアプレー」の意味を考えさせる。	
展開 (10分)  (5分)  (15分)	2) フェアプレーについて考える 【発問】誰かがあなたのために、その人がやらなくてもよい何かをしてくれた、あなたを助けるために自分のことをさしおいて行動した。そんな状況について考えてみましょう。どんな気持ちになりましたか。 【お話】トリノ・オリンピックのクロスカントリースキーでの出来事（レース中にストックが折れたカナダの選手に、ノルウェーのコーチがストックを差し出した話）を聞く。 【発問】このコーチはどんな気持ちでストックを貸したのでしょうか。メダルを取るよりも大切なこととはなんだと思いますか。	どんな気持ちになるか、友達と話をさせる。 これまでに自分がしてもらったこと、してあげたことがあれば話し合わせる。  「オリンピック価値教育の基礎」93ページのトリノ・オリンピック、クロスカントリースキーの逸話を分かり易く話して聞かせる。 中学年、高学年では各自で読ませてもよい。  どんな気持ちでストックを貸したのか、グループで話し合わせる。	「 <a href="#">オリンピック価値教育の基礎</a> 」93ページ ※その他の事例は、 <a href="#">日本オリンピック委員会(JOC)ウェブサイト</a> を参照
まとめ (10分)	フェアプレーについて学んだことを振り返り、日常生活でどんなところに活かせるか、考える。	スポーツの場面以外にもフェアプレーの精神を活用できることに気付かせる。 自分だったらどんなことができるだろう。	